

平成24年 6月22日

第8回 倉吉市教育委員会定例会

倉吉市教育委員会

第8回倉吉市教育委員会定例会 日程

日 時 平成24年6月22日(金) 午後3時

場 所 中部子ども支援センター2階

- 1 開 会
- 2 前回会議録承認
- 3 会議録署名委員の選出
- 4 教育長報告
- 5 協議事項
(1) 倉吉市の不登校対策について 1
- 6 報告事項
各課報告(別紙)
- 7 その他
- 8 閉 会

倉吉市の不登校対策について

(6月定例教育委員会資料)

倉吉市教育委員会事務局学校教育課

(1) 市全体での取り組み(市教委)

※本年度から欠席15日以上の児童生徒の状況を把握し、早期対応支援を行う。

①生徒指導学校訪問(5~6月、10~11月)

- ・各学校の状況の把握・支援(中部教育局、中部子ども支援センター同行)

②生徒指導対策推進会議の開催(5月、10月)

- ・鳥取大学大学院医学系研究科臨床心理学講座 井上雅彦教授の招聘
- ・早期対応体制づくり(登校サポートシートの活用、具体的な支援の手立て)
- ・中学校区での事例検討

③スクール・カウンセラー、心の教室相談員、子どもと親の相談員の配置

- ・スクール・カウンセラー(県事業)…各中学校に配置(小学校とも連携)
臨床心理士またはそれに準ずるもの
- ・心の教室相談員(市事業)…各中学校に配置
- ・子どもと親の相談員(県事業)…小学校3校に配置(西郷小、河北小、社小)

④スクール・ソーシャル・ワーカーの配置(県事業)

- ・市教委に2名配置
- ・福祉的な視点での家庭支援
- ・関係機関とのつなぎ役

(2) 各学校での取り組み

①未然防止(不登校を出さない学級づくり)

- ・授業づくり…わかる授業の実施
- ・人間関係づくり…学習場面で、特別活動等で、(SST等)

※西中学校区…「子どもたちの社会性を育む事業」(県事業)

Q-U、hyper-QUで実態把握を行い、よりよい学級生活や友だちづくりができるための手立てを実施。その後、検証・見直しを行う。

②早期対応

- ・電話での対応(欠席は、病気の時か、家庭の事情がはっきりしている時)
- ・欠席者の状況を把握する体制の確立(いつ、誰が、)→早期対応
- ・15日以上の欠席者への対応…登校サポートシートの作成・活用

③登校支援

- ・30日以上欠席者への対応…個別の指導計画の作成・活用
- ・チームでの支援体制づくり(コーディネータ、役割の明確化)

(3) 関係機関との連携

- ・小中連携の強化…現状と課題の共有、支援体制づくり
- ・中部子ども支援センター
- ・子ども家庭課、児童相談所、民生児童委員 等

(別紙Ⅲ)

()月 「15日～29日 欠席者一覧表」

倉吉市立

学校

	学年	学級	氏名	欠席日数	主な欠席理由	対応	備考
1							
2							
3							
4							
5							
6							
7							
8							
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							
16							
17							
18							
19							
20							
21							
22							
23							
24							
25							
26							
27							
28							
29							
30							

※年度の欠席日数が、15日～29日の児童生徒について記入。

※必要に応じて欄を増やして活用する。

※欠席日数欄には日数を記入

※「主な欠席理由」には、①病気、②経済的理由、③不登校、④その他 で記入

※「対応」については番号で記入

1…病気等理由がはっきりしており、今後継続して欠席するとは考えられず、
登校サポートシートは作成していない。(1の場合は備考欄に理由を記入)

2…登校サポートシート作成

3…個別の指導計画作成又は作成済み

倉吉市小・中学校 登校サポートシート

平成24年度	倉吉市立	学校	年生	性別	男・女
児童生徒氏名				作成日	平成 年 月 日
該当条件	<input type="checkbox"/> 欠席日数 (15 日以上)		<input type="checkbox"/> 別室 (相談室・保健室) 登校	<input type="checkbox"/> 自力登校の困難	<input type="checkbox"/> その他

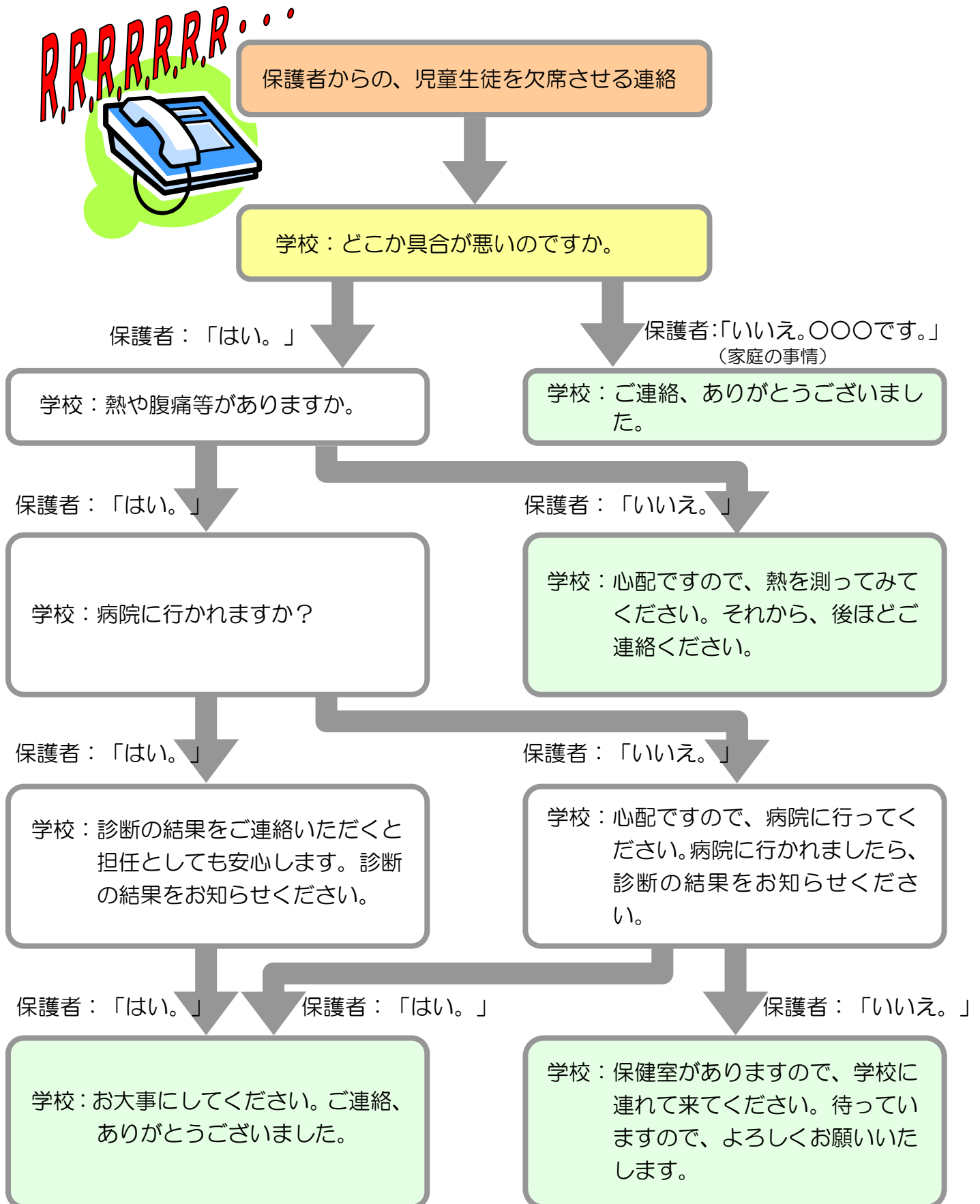
登校状況	1 学期	2 学期	3 学期	合計
作成時点での欠席日数				
早退・遅刻日数				

<p>1. 欠席の理由・きっかけと考えられるもの (複数可)</p> <p><input type="checkbox"/> 病気・けが ()</p> <p><input type="checkbox"/> 特定の教科・行事・活動への参加拒否がある (教科・行事・活動の詳細:)</p> <p><input type="checkbox"/> 保護者が病気であると言っているが、登校しぶりが見られる</p> <p><input type="checkbox"/> 集団になじめず些細な理由で学校を休む傾向がある</p> <p><input type="checkbox"/> 友人関係がこじれる</p> <p><input type="checkbox"/> その他 ()</p> <p>2. 欠席に対する学校の対応について</p> <p>※支援チームを結成して対応した <input type="checkbox"/>はい <input type="checkbox"/>いいえ</p> <p>※専門機関への相談を実施した <input type="checkbox"/>はい <input type="checkbox"/>いいえ (相談機関名:)</p> <p>3. 家庭の状況について</p> <p>※欠席の連絡が家庭からある <input type="checkbox"/>はい <input type="checkbox"/>いいえ</p> <p>※学校からの連絡がとりやすい <input type="checkbox"/>はい <input type="checkbox"/>いいえ</p> <p>※保護者が欠席を容認している <input type="checkbox"/>はい <input type="checkbox"/>いいえ</p> <p>※親子のコミュニケーション</p> <p><input type="checkbox"/>非常に良い <input type="checkbox"/>良い <input type="checkbox"/>どちらでもない <input type="checkbox"/>良くない</p> <p>※学校との連携</p> <p><input type="checkbox"/>協力的である</p> <p><input type="checkbox"/>積極的ではないが拒否しない</p> <p><input type="checkbox"/>話し合いの場が持てない</p> <p><input type="checkbox"/>その他 ()</p> <p>6. 参考となる事項について</p> <p>○本人への対応とその留意点 (欠席しやすい曜日・登校の促し方・欠席時の対応・別室などでの関わり・学習面での指導の方法、など)</p> <p>○保護者の考え・保護者への対応とその留意点</p> <p>○その他 (欠席時の過ごし方・関係機関利用の状況、など)</p>	<p>4. 児童の様態と特性について</p> <p><input type="checkbox"/> 非行傾向が見られる (ここ1年) (その内容:)</p> <p><input type="checkbox"/> 何らかの障がいがある (障がい名・診断名)</p> <p><input type="checkbox"/> LD・AD/HDもしくは広汎性発達障がいの傾向が見られる</p> <p><input type="checkbox"/> 学業不振が見られる (遅れの程度:)</p> <p><input type="checkbox"/> 過去にいじめられた経験がある</p> <p><input type="checkbox"/> 虐待の可能性はある</p> <p><input type="checkbox"/> まじめである <input type="checkbox"/> 周囲の刺激に敏感である</p> <p><input type="checkbox"/> 孤立感がある <input type="checkbox"/> 緊張しやすい</p> <p><input type="checkbox"/> 自己中心性が見られる <input type="checkbox"/> 幼稚さが見られる</p> <p><input type="checkbox"/> 楽観的である <input type="checkbox"/> 新しい環境が苦手</p> <p><input type="checkbox"/> 落ち込みやすく内向的になりやすい</p> <p><input type="checkbox"/> ストレスに対して回避的である</p> <p><input type="checkbox"/> すぐにかつとなりやすい</p> <p><input type="checkbox"/> 自分のことを表現することが苦手</p> <p><input type="checkbox"/> 攻撃的な行動をとることがある</p> <p><input type="checkbox"/> その他 ()</p> <p>5. 学校での様子について</p> <p>※好きな教科 ()</p> <p>※得意な教科 ()</p> <p>※嫌いな活動 ()</p> <p><input type="checkbox"/> その他 ()</p>
---	--

※1～5については各項目の□欄にはチェック☑を入れてください。()内は、該当内容を記入ください。
 ※6については参考となる事項がある場合に記入してください。

欠席連絡時の電話対応モデル

※欠席は、①病気の時 ②家庭の事情がはっきりしている時である。



欠席児童生徒の対応

欠席児童生徒への連絡

◆基本的な対応・・・連絡帳での欠席連絡だけでなく、電話連絡等で内容をきちんと把握する

- ①電話連絡時に担任（学年部）が内容を把握する
- ②不明確な欠席理由であった場合、問題が解決する方向での適切な休ませ方を保護者へ助言をする

適切な休ませ方のモデル（家庭）

1. 児童生徒が不調を訴えた場合、体温を測る。
2. 異常が認められた場合、保護者は児童生徒を医師に受診させる旨を学校へ連絡。
3. 受診後、医師から欠席の指示があった場合は、保護者は学校へ連絡をして休ませる。登校可能の診断がでた場合には、登校させる。

*保護者から児童生徒の欠席連絡を受けた時、このモデルのどこが欠如しているかを判断し、「こうしてもらおうと担任として安心です」という文脈で保護者へ助言をする

◆家庭連絡

- ①翌日の予定、学校行事等について、担任が必ず電話連絡を入れる
- ②担任がきちんと休養をしていたかを確認する

月に3日以上欠席者

◆3日間継続して欠席した場合

- ①担任が家庭訪問をすることを基本とする
 - *多面的に情報を得るために、副担任等、学年部の職員と一緒に家庭訪問することも考えられる
 - *必要に応じて不登校担当教諭或いは保護者と最も信頼関係のある教職員が訪問する
- ②本人、保護者とも会えなかった場合、手紙を添えて印刷物等をポスト等に投函する
 - *本人、保護者とも会えなかった場合、担任が必ず電話連絡を入れる

◆個別シートの作成

- ①欠席の理由、きっかけ等を記入する
 - *生徒の場合、部活動の参加状況も担当教諭と連携し、把握を行う

月に5日以上欠席者

◆5日間継続して欠席した場合

- ①不登校児童生徒支援チームの開催を要請する
 - *管理職、学級担任、学年主任、生徒指導主事、不登校担当教諭、養護教諭、教育相談員等
- ②各情報等をもとに、欠席が始まったきっかけや欠席の継続の理由等を判断し、対応を検討する
 - *可能な限り専門家（スクールカウンセラー、専門機関：中部子ども支援センター等）の助言を得る

◆校内の教職員間における連携

- ①月に5日以上欠席があった場合、学習面のサポートを行う

当該児童生徒への指導・助言等

◆留意点

- *当該児童生徒が安心していられる場をつくる
- *当該児童生徒の好きなこと、得意なことを探り、その面で話ができるようにする
- *活躍の場を与え、自信を持たせる工夫を行う
- *不安や悩みを抱えている場合、緊張・怒り・嫌悪等の不快な感情を言葉で表現できるように促す

その他、配慮すべき事項

◆留意点

- *保護者の理解を得るために、家庭訪問や電話連絡を状況に応じて行い、家庭にも協力を依頼する
- *今後の指導に生かすため、必ず指導の記録に記入する
- *担任等が不安や悩みを感じたら、不登校支援チームのメンバーと必ず相談する

生徒指導上の人員配置

○スクールソーシャルワーカー配置

学校教育課に配置し、市内19小中学校を対象とする。

		氏名	時間数
1	学校教育課	池原 美穂	年間655時間程度
2			

○スクールカウンセラー配置状況

	配置校	氏名	週時数	年間時間数
1	東中学校	山崎 沙織	8	280
		中村 宏子	2	70
2	西中学校	河村壮一郎	5	175
		一村 桂子	5	175
3	久米中学校	松島 綽子	4	140
4	河北中学校	山崎 沙織	8	280
		小嶋 和重	2	70
5	鴨川中学校	磯谷 弘子	4	140

○心の教室相談員配置状況

	配置校	氏名	時間数
1	東中学校	磯江ちづる	6時間×4日×38週
2	西中学校	大西 直美	6時間×4日×38週
3	久米中学校	山根 悦子	6時間×4日×38週
4	河北中学校	山田 統子	6時間×4日×38週
5	鴨川中学校	衣笠 恵美	6時間×4日×38週

○子どもと親の相談員

	配置校	氏名	時間数
1	西郷小学校	佐藤 佳子	年間420時間
2	河北小学校	小川 聡	年間420時間
3	社小学校	金本美名子	年間420時間

生徒指導上の関係機関一覧

関係機関名		連絡先
鳥取県中部 こども支援センター	不登校児童生徒の相談・受け入れ施設	48-9177
倉吉市子ども家庭課・福祉課	サービス・相談・助成制度	22-8220
倉吉児童相談所	相談機関(心理診断・医学診断・一時保護等)	23-1141
中部教育局・教育相談員	教育相談	23-3251
厚生病院、倉吉病院(思春期外来)	障がいに関わる診断、思春期の心の相談 等	
倉吉警察署生活安全課	少年相談	26-7110
皆成学園	知的障がい児施設	22-7188
エール	自閉症・発達障がい者支援センター	22-7208
因伯子供学園	児童養護施設	22-2639
倉明園・ブルーインター	母子生活支援施設	
県教育センター・教育相談課	教育相談	0857-31-3956
倉吉養護学校地域支援部	発達障がい教育拠点、障がいについての相談	28-3500
鳥取県自閉症協会・ペアレントメンター	保護者による支援	
とっとり若者サポートステーション	就労のサポート(15~39歳対象)	
各地区民生委員		
各地区主任児童委員		
各地区児童センター・児童館		